

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスめーぶる				公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	2階や園庭での活動など、安全に利用できる環境を広く活用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	少人数に分かれて活動できるよう、十分に安全な職員配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	バリアフリー対応のスロープ、トイレなどの設備があります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	食事前の消毒や、水回りの清掃など日常的な清潔環境の整備を徹底しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	ST個別訓練のため2階の指導室を活用しています。必要に応じて園庭や2階をクールダウンのスペースに使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	職員会議やケース会議をそれぞれ毎月、ミーティングを毎日行い、日々の業務改善に繋がっています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	0%	年に1回の放課後等デイサービス評価表の実施と、今年度はイベント時に評価アンケートを行いました。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員ノートを活用し、綿密に報告・連絡・相談を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	50%	姉妹事業所との人事交流を通して、支援の質の向上、業務改善を心がけています。	今年度は外部の福祉事業所との地域連携推進会議に参加しました。今後さらに第三者との連携を深めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	資格取得の支援、府・市主催研修会への積極的な参加と共有、定期的な社内研修会の開催を行っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	0%	HPIにて公表しています。職員との共有を行い、必要に応じてプログラムの改善を行っていきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	日々の保護者とのコミュニケーションをミーティングやケース会議で共有し、ニーズにあった支援を心がけています。	面談や保護者会などゆっくりとコミュニケーションができる機会をもち、支援方針の共有ができるよう工夫していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	事業所としての支援の方向性を共通理解として持てるよう、職員との共有を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	事業所としての支援の方向性を共通理解として持てるよう、職員との共有を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	17%	理解語彙検査などを実施し、ST会議の中で多職種職員に共有したり、日々の行動を話し合い、支援を考えています。	フォーマル・インフォーマルアセスメントの結果を統合し日々の支援に繋がられるよう、職員研修会を行っていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	0%	定期的に会議の中で見直しを行い、現状に合った計画であるよう工夫していきます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングを行い、活動の具体的な内容を計画しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	こどもたちの生活経験につながる幅広い活動を提供できるよう、日々活動プログラムを考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	ST個別訓練や少人数での屋外活動、クールダウンなど個別と集団を併せた支援を工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日、当日と前日の情報共有、活動の打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	送迎もあり、全職員ではないですが、送迎後にも情報共有と打ち合わせをおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援は全員分1人ずつ提供日誌を記入し、合わせてミーティングでの共有、相談を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	0%	見直しを行えるよう、周知・共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	83%	0%	生活の自立や日々の楽しみを持って成長できるよう、基本活動をもとに活動を計画しています。	地域交流の機会として買い物や徒歩での公園外出などを行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	絵カード、写真での意思表示、活動の選択ができるようにしています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達管理責任者が主になり参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	0%	関係機関との連携については、医療・保健・教育機関等と情報共有を行いながら支援を進めています。	より安定した連携体制とするために、定期的な情報交換の機会を設けるなど、継続的な連携強化に努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校との連携については、送迎時の引き継ぎや面談等を通じて、日常的に情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	0%	就学前機関との連携については、一部で情報共有を行っております。	入所前の情報共有や引き継ぎをより丁寧に行い、安心して新しい環境に適應できるよう支援体制を整えていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	0%	卒業後の進路に関する情報提供については、必要に応じて対応しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	0%	児童発達支援センター等との連携については、主催の研修会に参加し支援を行っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	50%	地域交流の機会として買い物や徒歩での公園外出などを行っています。	日常の活動の中に地域との関わりを取り入れながら、お子さまが安心して社会経験を積めるよう取り組みます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	17%	地域の関係機関が主催する会議や協議会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日頃より、保護者の皆さまとお子さまの様子を共有し、発達や課題について共通理解を図っています。	今後も、分かりやすく丁寧な情報共有を心がけ、安心してご利用いただける関係づくりに努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	0%	個別相談や必要に応じた助言を行っております。	保護者の皆さま同士の交流や学びの機会も含め、より充実した支援の場を提供できるよう取り組んでいきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	0%	重要事項や支援内容について丁寧に説明しております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83%	0%	本人・家族の意思を尊重し、支援を提供しながら日々共有と意思の確認を行っています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	ご家庭からの子育てに関するご相談については、日々の連絡を通じて、状況に応じた助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	保護者同士の交流については、機会づくりに配慮しながら、今年度は交流を持てるよう写真展を開催しました。	より参加しやすい形での交流機会の設定や、保護者の皆さまのご意向を踏まえた取り組みを検討し、つながりを深めていただける環境づくりに努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情があった場合には迅速かつ丁寧に対応し、その内容を職員間で共有することで、再発防止と支援の質の向上につなげています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ホームページやSNS等も活用し、活動の様子や連絡事項をタイムリーに、情報提供を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いについては、関係法令および事業所内のルールに基づき、適切に管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子さまや保護者の皆さまとの意思疎通や情報伝達については、状況に応じた方法を選択し、分かりやすい説明を心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	50%	現状では十分とは言えない部分もありますが、日々の活動の中で地域との接点を意識した取り組みを行っております。	地域の方にご参加いただける行事の企画や、地域資源を活用した活動を取り入れることで、より開かれた事業所運営を目指します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	事故防止や緊急時対応に関する各種マニュアルを整備し、職員間で共有しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	0%	BCPを策定し、非常災害時に備えた体制を整えています。避難訓練等を通じて職員およびお子さまが安全に行動できるよう取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に情報伺い、調理活動の前などには都度重ねた確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	0%	保護者さんを通して指示をいただき、対応しています。	今後、必要に応じて医師の指示書もいただき、安全な活動、支援を行っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年度に1回、安全計画を立案し、安全計画に基づいた研修、訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	33%	17%	訓練の実施について、周知し理解に努めます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	0%	ヒヤリハット発生時には、共有しながら進めるとともに、報告書の回覧や周知を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	0%	虐待防止のため、社外の研修会に参加するとともに、社内でも研修会を開催しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	0%	子どもの安全のために必要と考えられる場合、同意をいただいたうえで対応します。		